高橋余一「生活絵巻」展 －暮らしのありかを思い出す－

会　　期　　2012年4月14日（土）～6月3日（日）〈42日間〉
会　　場　　企画展示室
展示作品　　39件
観 覧 料　　無料
入場者数　　1,801名

内　　容

高橋余一の描いた「生活絵巻」は、明治期から昭和期にかけて加茂郡古井村（大正13年からは古井町、現・美濃加茂市）に暮らした人々の日常をシンプルな画風で描いたものです。

余一の死後、遺族によって絵巻に仕立てられ、1993年（平成5年）には貴重な記録資料として美濃加茂市指定有形文化財に指定されました。

高橋余一は、1898年（明治31年）古井村に生まれました。若い頃、大阪に出て簿記学校へ通うかたわら、京都の絵画塾で日本画を学びました。帰郷後は小学校の代用教員や会社勤めをします。定年退職後、病に倒れ自宅で療養生活を送ることになりました。医者に散歩をすすめられ、町内を歩くうちにふるさとの暮らしや文化をのこしたいという気持ちを強くします。そして自らの記憶をたどり得意だった絵で記録し続けました。

「生活絵巻」は、農業や養蚕をはじめとする生業、祭りや年中行事、時代の流行もの、さまざまな習俗の有様が自然な構図でとらえられ、淡い彩色で仕上げられています。添えられた文とともに「記憶」の遺産として歴史的な価値が極めて高いものです。

高度成長期とともに消えていった古井の日々の風景が「生活絵巻」にはあります。本展では、失くしてはならないものを伝えようとした余一の心にふれていただき、余一のそして私たちにとっての‘暮らしのありか’を探していただく機会となりました。

関連行事

■ミュージアムフォーラム　講演会「「生活絵巻」と人々の暮らし」
　5月26日（土）13:30～15:00　研修室　参加無料　参加者：9名
　講　師：岐阜大学教育学部　伊東久之教授

■ミュージアムイベント　「道草　余一の見た風景」
　5月19日（土）13:30～15:00　美濃加茂市川合町　参加無料　参加者：8名

■ミュージアムイベント　四季を食べる講座 特別講座「端午の節句を祝う」
　4月21日（土）10:00～13:00　生活体験館　参加料：300円　参加者：15名

■ミュージアムトーク
　4月15日（日）①11：00～　参加者：6名　②14:00～　参加者：25名
　5月18日（金）①11：00～　参加者：1名　②14:00～　参加者：　5名

高橋余一「生活絵巻」展　展示資料目録

番号	資料名	巻数	本紙長さ（cm）	所有者	時代	備考
1	古井生活絵巻	1巻	137.5	寄託資料	昭和	美濃加茂市指定有形文化財
2	〃	2巻	273.5	〃	〃	〃
3	〃	3巻	419.0	〃	〃	〃
4	〃	4巻	364.0	〃	〃	〃
5	〃	5巻	344.5	〃	〃	〃
6	〃	6巻	274.5	〃	〃	〃
7	〃	7巻	335.0	〃	〃	〃
8	〃	8巻	352.0	〃	〃	〃
9	〃	9巻	396.5	〃	〃	〃
10	〃	11巻	290.5	〃	〃	〃
11	〃	12巻	206.0	〃	〃	〃
12	〃	13巻	310.5	〃	〃	〃
13	〃	14巻	155.0	〃	〃	〃
14	〃	15巻	338.0	〃	〃	〃
15	〃	16巻	324.5	〃	〃	〃
16	〃	17巻	312.5	〃	〃	〃
17	〃	18巻	276.0	〃	〃	〃
18	「心を洗う」の巻		不明	〃	〃	

※「古井生活絵巻」の本紙巾は約15センチメートルです。

番号	資料名	所有者	時代	備考
19	写真	個人蔵	昭和	2点
20	日記	〃	昭和	2点
21	『川柳漫画』	〃	1930年（昭和5年）	
22	落款	〃	昭和	5点
23	物語を描いた絵	館蔵	〃	
24	『美濃加茂市史民俗編』刊行案内のしおり	館蔵	1977年（昭和52年）	
25	社会科副読本『わたしたちのまち　美濃加茂』	館蔵	1974年（昭和49年）	
26	獅子頭	古井神社	不明	
27	タンス	館蔵	昭和	
28	ナガモチ	〃	〃	
29	イコウ	〃	〃	
30	カバン	〃	〃	
31	タライ	〃	〃	2点
32	ハンゾ	〃	〃	
33	センタクイタ	〃	〃	
34	フロシキ	〃	〃	
35	ハリバコ	〃	〃	
36	キョウダイ	〃	〃	
37	ダイハチグルマ	〃	〃	
38	コエオケ	〃	〃	2点
39	青柳橋の橋板	〃	明治	